

地域住民参加型のボランティア ～多様な人材、組織を活かした地域づくり～

宗像市 吉武地区コミュニティ運営協議会【コミュニティセンター】
事務局長 高山 國敏

1. 事業の目的

当地区は、宗像市東部に位置し、8自治会で850世帯、人口は約1800人、高齢化率43%、小学校の児童数は113人の農村地帯である。地域内には、福岡県、宗像市の指定を受けた文化財や天然記念物があり、神社を中心として歴史伝統文化を大切に保存してきた。

少子化、高齢化の進展に伴い、人材不足等で地域活動等に支障が見られ、これらの課題に対応するため、様々な人材の活用、ボランティア組織の協力により、効率的な地域活動の実践が必要となった。

2. 事業の実施主体

吉武地区コミュニティ運営協議会（各専門部会、正助さんの寺子屋の会等）
市民活動団体（新立山を守る会、八之会、吉武こころ会、食進会等）

3. 連携・協力機関・団体等

宗像市、福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学、宗像市ボランティア組織

4. 実施に至る経過

平成14年に吉武地区コミュニティ運営協議会が設立され、市より地域活動の権限と財源移譲がなされ、吉武地区コミュニティ・センターを活動拠点に、コミュニティ活動の指針である吉武地区まちづくり計画に基づく、住民主体の自主的な地域活動が開始された。

特に当地区では、「地域の子どもは、地域で守り育てる」ことを基本として、吉武小学校と密接な連携のもと、地域と学校が一体となり、正助さんの寺子屋事業や学童保育所の運営を行い、特長ある子育て環境づくりに取り組んできた。

また、地域内の歴史文化遺産を活かした祭り、各種イベントでは、市民活動団体が中心となり、地域資源再発見、外部への情報発信を行い、来訪者の増大につながる活動となっている。

5. 事業の内容

当地区の活動を行う上で、コミュニティ組織や自治会等の役員だけでは限界があ

り、人的パワー不足を補うため、①地域内住民ボランティア、②学生ボランティア③地区外市民ボランティアの支援が大きな力となっている。以下3つのテーマごとの活動内容を記述する。

(1) 子育て支援活動(正助さんの寺子屋事業)

ア 放課後学習会

毎週火曜日の放課後、寺子屋に登録した児童約80名が吉武地区コミュニティ・センターに集まり、グループに分かれて宿題を行っている。その後、時期に応じて製作活動や英会話、外国文化の紹介等も実施し、異文化に触れる体験も行った。

この中で住民ボランティアは、交通安全見守り活動、低学年の宿題の相談相手等で子ども達との交流が主な内容である。

学生ボランティアは、福岡教育大の日本人学生と留学生が中心となり、宿題の指導や自国の文化、習慣、遊び等を紹介している。

イ スポーツ教室

バスケットボールやドッジボール等の運動指導は、福岡教育大体育専攻の学生に依頼し、ラグビーは、トップリーグの宗像サニックスブルースの選手、スタッフから指導を受け、一流選手と交流している。

ウ 夏期体験学習

地元神社の野外体験ができる場所を利用し、地域ボランティアの指導により、竹細工やソーメン流し、飯ごう炊飯、ロープを使った遊び等の体験を行っている。

エ ときどきワクワク通学合宿

吉武地区コミュニティ・センターにおいて、4年生以上の児童25名が参加して、4泊5日の共同生活を行っている。食事指導や日常生活の見守り等は、地域住民、食進会、ヘルス委員の協力で行い、家庭では体験できないような生活時間を過ごすことができた。



寺子屋学習会



スポーツ教室 (ラグビー指導)

(2) 地域環境美化活動 (新立山を守る会、環境整備部会)

ア 新立山、戸田山登山道整備

25年前に有志が結成した新立山を守る会では、地区内の登山道整備(年2回)や初日の出登山、山開き登山等のイベントを通じて青少年の健全育成活動を行っている。

イ 釣川河川浄化

地区内を流れる河川周辺の草刈り(年2回)やヒガンバナ植付け(10月下

旬)による環境美化活動を自治会を中心とした地域住民が行い、一部福岡教育大の学生も応援に加わっている。

(3) 歴史文化遺産を活かした活動(八之会、自治会長会、歴史伝統文化保存振興会)

ア 八福神めぐり

地区内の8カ所の神社を朱印帳を持って歩くイベントで、毎回200名程度の参加があるが、事前準備として地元住民の神社清掃や、当日のおもてなしが行われている。また、高齢者や車いすでも参加できるコースでは、日本赤十字九州国際看護大、福岡教育大の学生のボランティアとしての参加があり、車いす介助等の支援活動で有意義な活動となった。

イ 早川勇翁生誕祭、武丸正助翁法要

吉武地区が生んだ偉人である2人の遺徳を偲び、自治会が主体となり、法要や生誕祭を実施している。ボランティアとして子ども会、地域の組織による音楽や語り劇を行い、偉人の功績を次世代へ引き継ぐ活動となっている。

6. 事業の成果

(1) 子育て支援活動(正助さんの寺子屋事業)

地域住民と家庭、小学校が密接な連携の下、子ども達が様々な体験を行い、学校や家庭では味わえない活動が行われた。特に宿題を行う習慣が身につく、吉武地区コミュニティ・センター内では、大きな声のあいさつと靴をきちんと並べるという約束も守られている。

(2) 地域環境美化活動(新立山を守る会、環境整備部会)

登山道整備は、放置すれば草木が伸び、通行が困難になるが、定期的な草刈り作業により、快適に登山が楽しめる環境が整った。また、初日の出登山では、毎年500名近くの住民が参加し、豚汁、甘酒等の無料の振る舞いも好評となっている。

(3) 歴史文化遺産を活かした活動(八之会、自治会長会、歴史伝統文化保存振興会)

地区内にある歴史文化遺産にスポットを当てることにより、住民が気付かなかったような場所や風景が再発見でき、参加者と地域住民にとって有意義なイベントとなった。これらの活動は、地域の重要な財産となり得るものであり、次世代につなぐ活動として特に重要である。

7. 今後の課題

(1) 安定したボランティア確保のためのシステムづくり

(2) 高齢化が進む中で、高齢者福祉と関連づけた活動強化へ

(3) 自助から共助、さらに公助へスムーズにつながる地域支援組織の育成

問い合わせ先 〒811-4153 宗像市吉留 3519-1

吉武地区コミュニティ・センター、コミュニティ運営協議会事務局長

TEL 0940-32-5904、FAX : 0940-32-5958、E-mail : yoshitake-cc@fuga.ocn.ne.jp